

令和7年度 柏市地域包括支援センター 事業実績について

令和8年7月16日
柏市地域包括支援課

目次

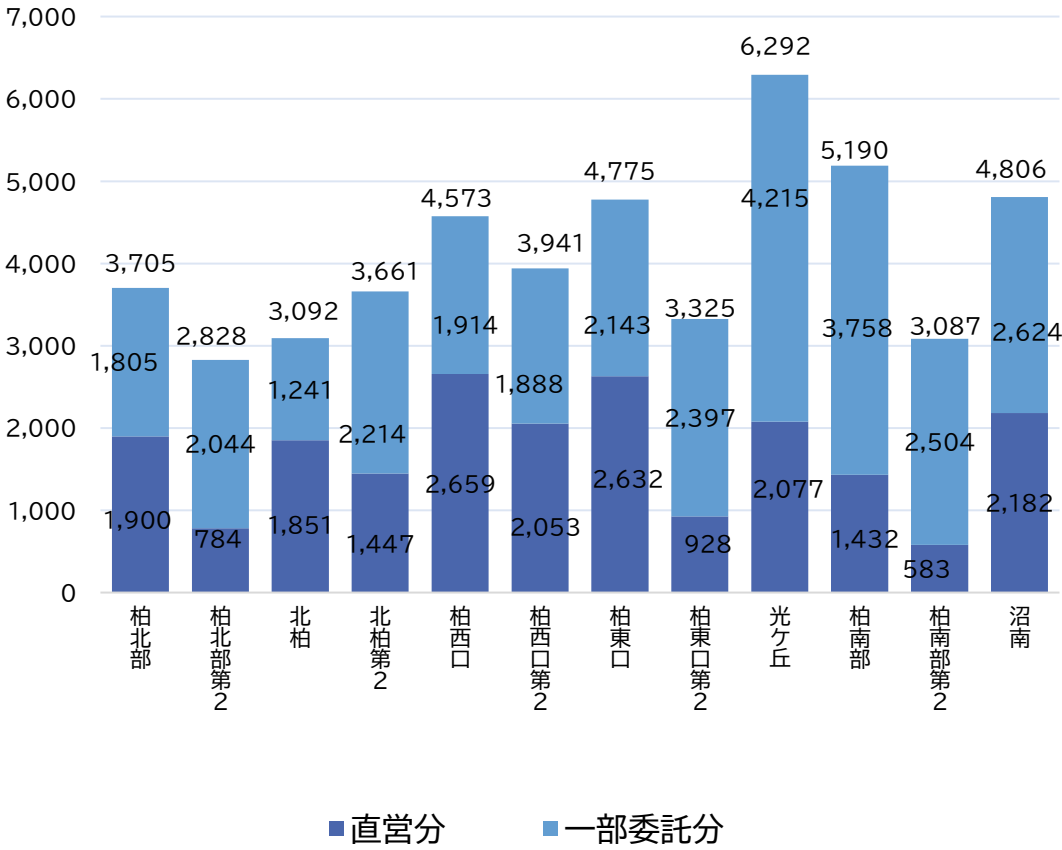
- (1) 介護予防・生活支援サービス事業・・・スライド3
- (2) 一般介護予防事業・・・スライド4
- (3) 総合相談支援業務・・・スライド5～6
- (4) 権利擁護業務・・・スライド7
- (5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務・・・スライド8～9
- (6) 認知症総合支援事業・・・スライド10～11
 - (認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)
- (7) 地域ケア会議推進事業・・・スライド12
- (8) 令和6年度との比較・・・スライド13
- (9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み・・・スライド14～25
- (10) まとめ 令和7年度の傾向と令和8年度に向けて・・・スライド26

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

ケアプラン作成件数(R8.3月末時点)

介護予防 ケアプラン件数	49,275 件
うち、居宅介護支援事業所へ委託した件数 (一部委託)	28,747 件
委託率	58.3 %

センター別 作成件数(R8.3月末時点)



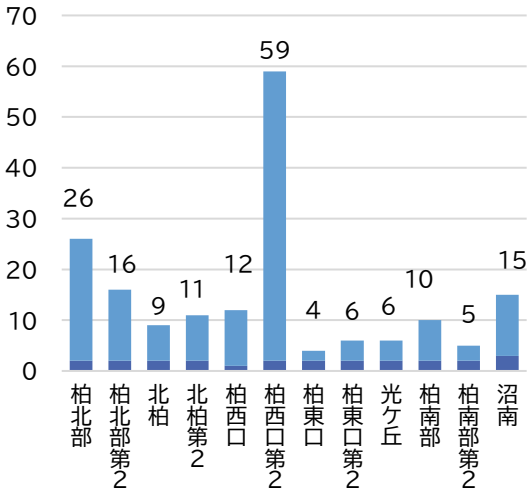
⇒要支援者及び事業対象者のケアプラン作成数は前年度より増加。一部委託の依頼に苦慮しているが、委託率は前年度より増加(R7.3月末時点は46,513件で委託率57.6%)。

(2) 一般介護予防事業

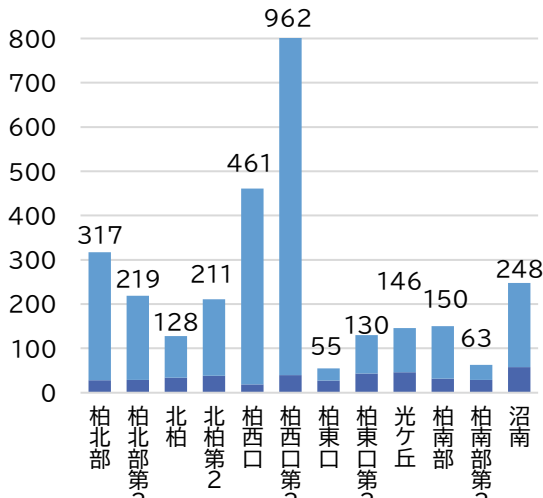
ア 介護予防普及啓発事業

フレイル チェック 講座	開催回数	24 回
	参加人数 (延べ)	423 人
介護予防普 及啓発事業	開催回数	155 回
	参加人数 (延べ)	2,667 人

センター別 開催回数



センター別 参加人数(延べ)

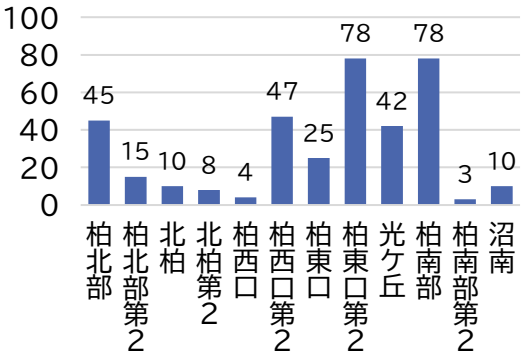


■ フレイルチェック講座
■ 介護予防普及啓発事業

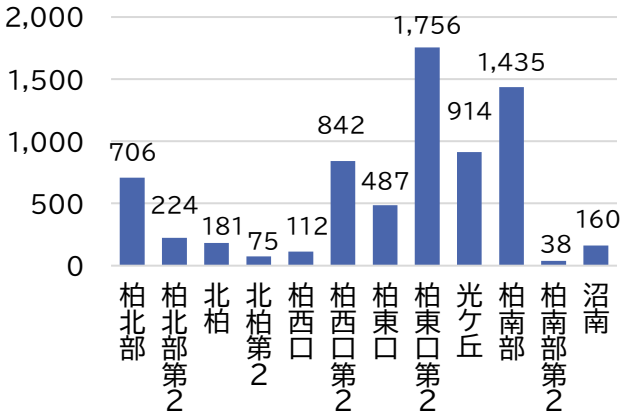
イ サークルやサロン等の地域の団体への支援

開催回数
365回
参加人数(延べ)
6,930 人

センター別 開催回数



センター別 参加人数(延べ)

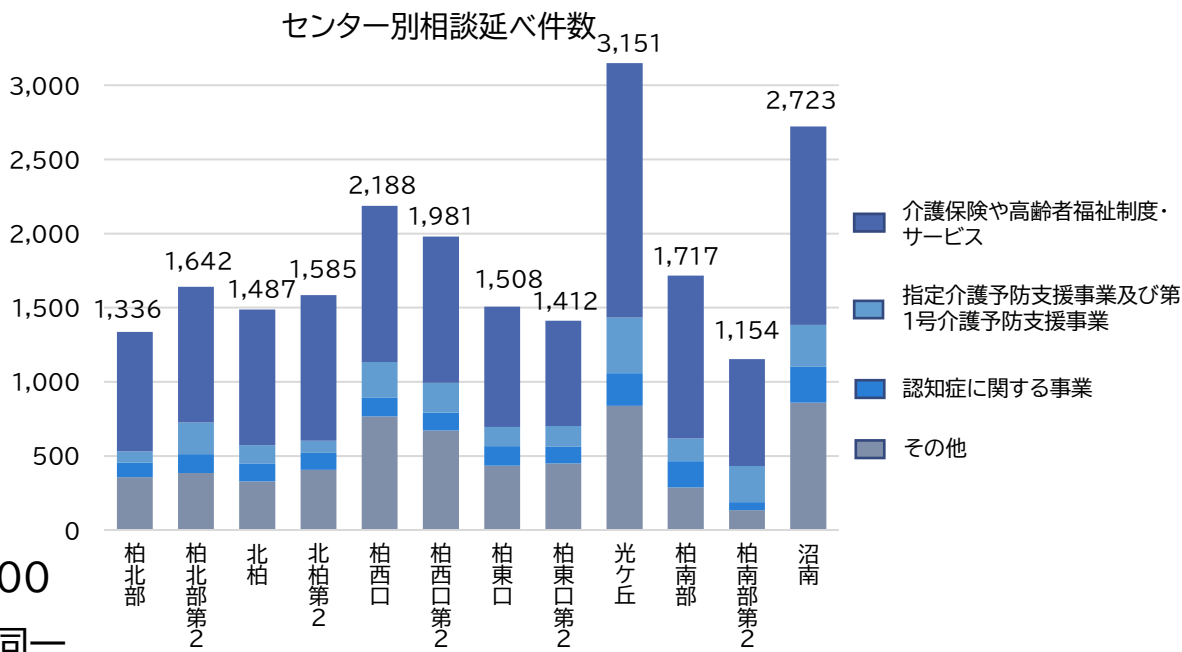


(3) 総合相談支援業務①

総合相談件数

実件数
19,036件
延べ件数
21,884件

⇒相談延べ件数は前年度と比較し、約4,500件増加しており、相談内容の複雑化により同一利用者からの相談が増加している。
(R6は実件数15,694件、延べ件数17,387件)

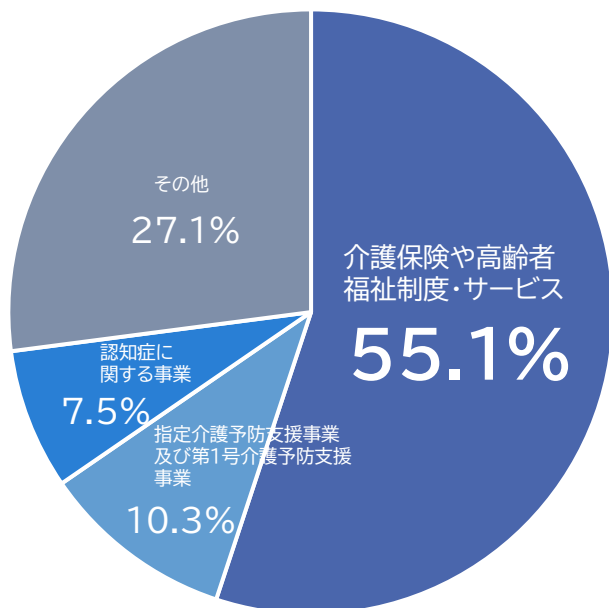


<参考:日常生活圏域データ(令和7年10月1日現在)>

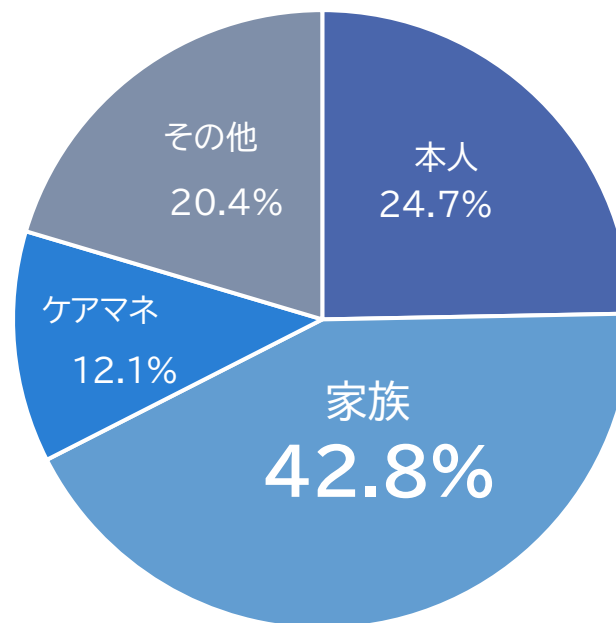
内容	柏北部	柏北部第2	北柏	北柏第2	柏西口	柏西口第2	柏東口	柏東口第2	光ヶ丘	柏南部	柏南部第2	沼南	合計
65歳以上人口	9,224人	7,304人	7,510人	9,529人	8,396人	7,803人	10,231人	7,761人	11,406人	12,458人	7,484人	14,975人	114,081人
高齢化率	18.6%	25.5%	31.0%	29.9%	25.4%	21.1%	23.7%	23.5%	28.1%	30.3%	30.2%	28.3%	25.9%
要介護認定率	16.3%	17.7%	19.2%	17.3%	20.5%	18.1%	17.9%	18.1%	19.8%	18.2%	19.4%	16.1%	18.6%

(3) 総合相談支援業務②

内容別 相談件数



相談者別 相談件数



⇒介護保険や高齢者福祉制度・サービスに関する相談が12,053件(55.1%)で最も多い。
また, 昨年度同様, 家族からの相談が9,369件(42.8%)と最も多い。

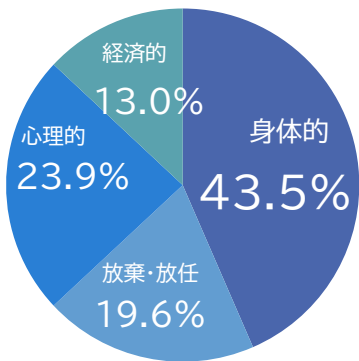
ケアマネジャーとの連携促進により, ケアマネジャーからの相談数が増加(R6年度:11.8%)

(4) 権利擁護業務

ア 高齢者虐待への対応(実件数)

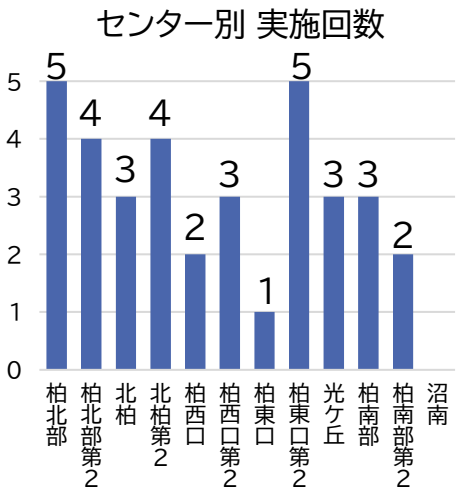
センター	通報件数	虐待として 対応した件数
柏北部	11	1
柏北部第2	6	1
北柏	11	1
北柏第2	11	2
柏西口	16	2
柏西口第2	9	2
柏東口	9	4
柏東口第2	12	4
光ヶ丘	13	3
柏南部	14	3
柏南部第2	5	2
沼南	25	3
計	142	28

虐待の形態別割合(重複有)

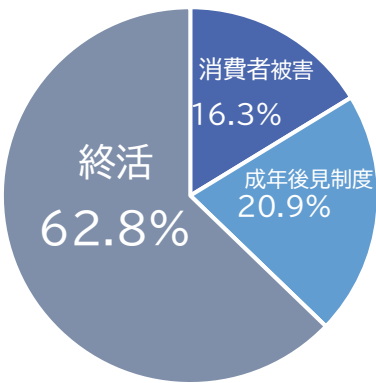


⇒虐待疑いを含めて通報があった件数は142件で、
 そのうち、虐待として対応した件数は28件
 ⇒虐待の形態としては、身体的虐待が20件(43.5%)と最も多い。

イ 権利擁護講座



テーマ別 実施割合

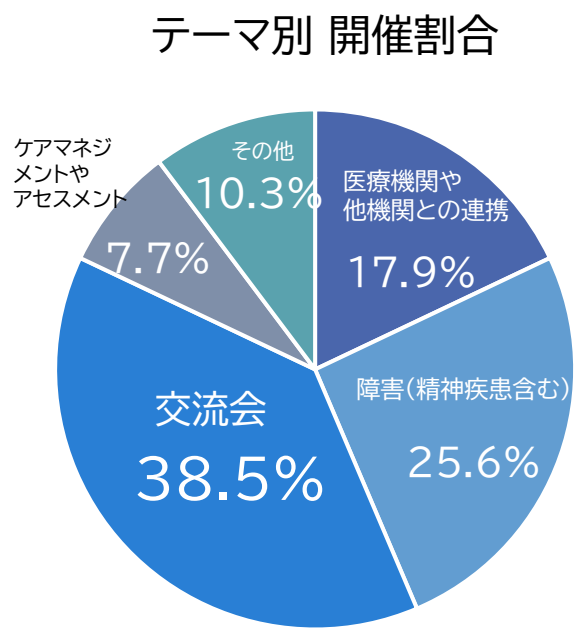
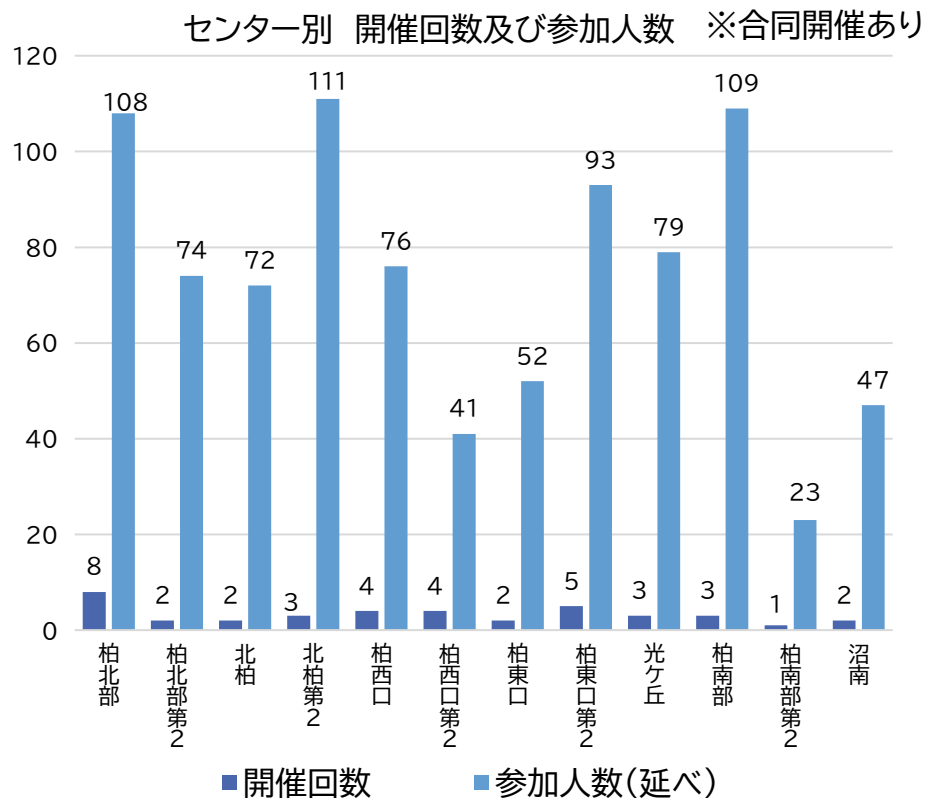


⇒開催回数は終活に関するものが最も多い。
 前年度は成年後見制度に関するものが最も多かったが、終活を身近なものとする考え方の増加がうかがえる。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務①

ア 地区別研修

(単位:回, 人)

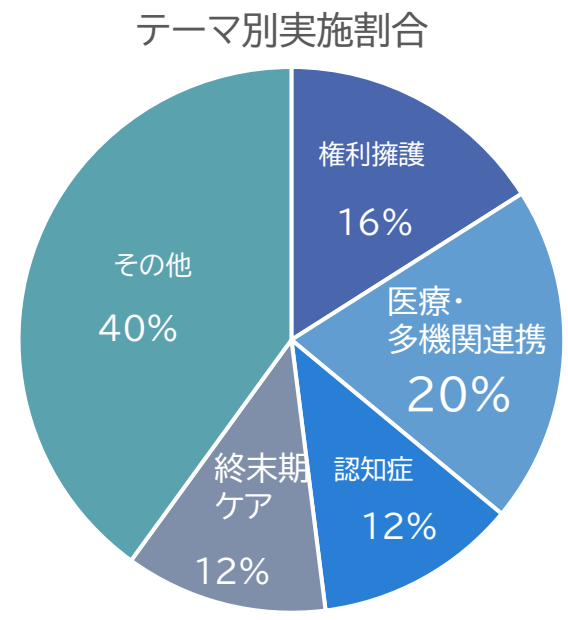
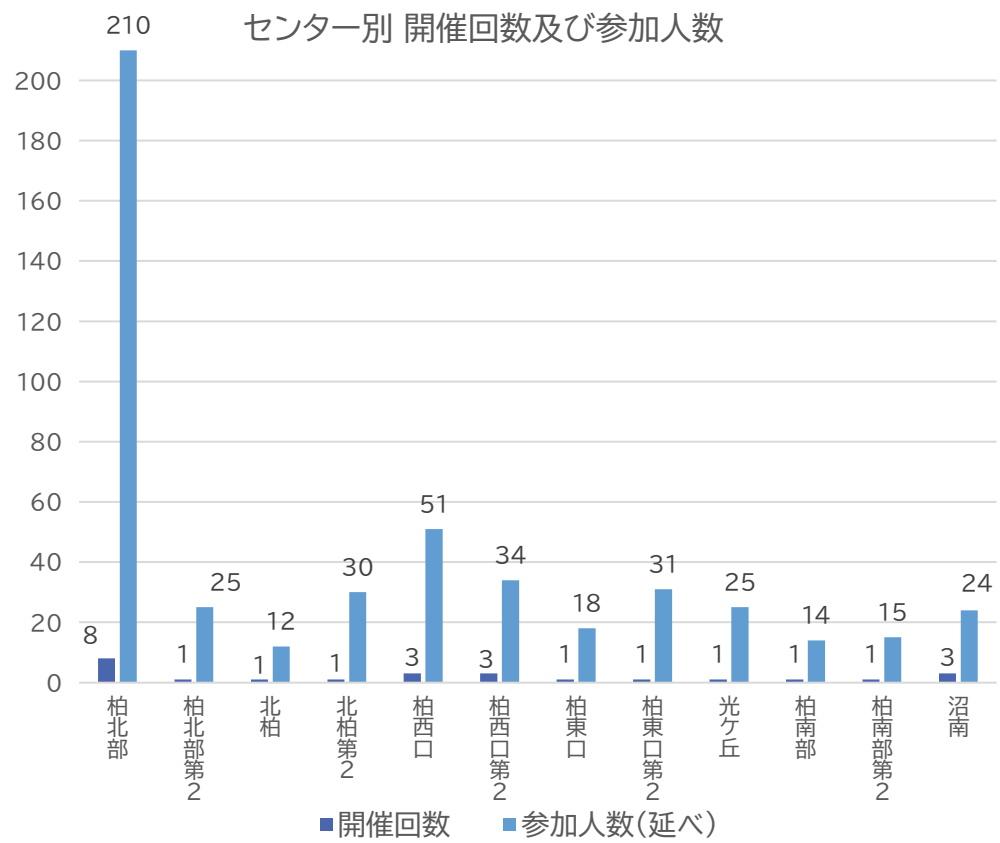


⇒ケアマネジャー同士の情報交換やネットワークの構築, ケアマネジャーの資質向上, 制度や施策などに関する情報提供を行う機会として, 各センターで研修を実施。交流会により顔のみえる関係を構築できた。

(5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務②

イ 事例検討会

(単位:回, 人)



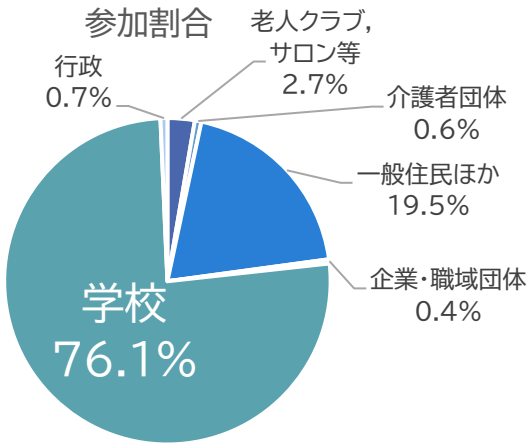
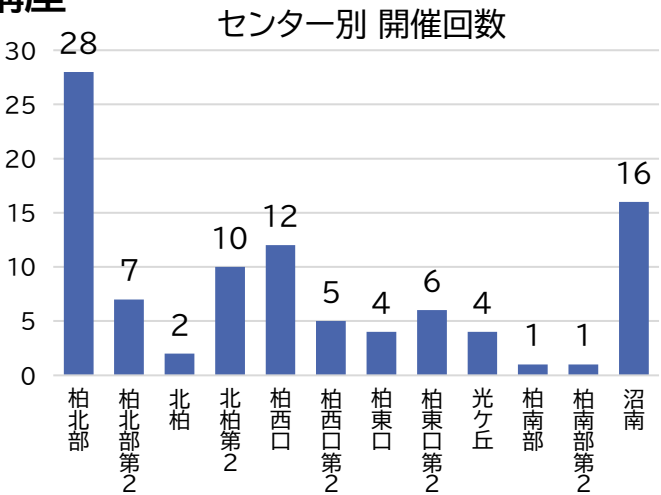
⇒ケアマネジャーの資質向上のため、センターの専門職や医療・介護・福祉等の関係機関と連携した事例検討を各センターで実施した。

(6) 認知症総合支援事業①

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

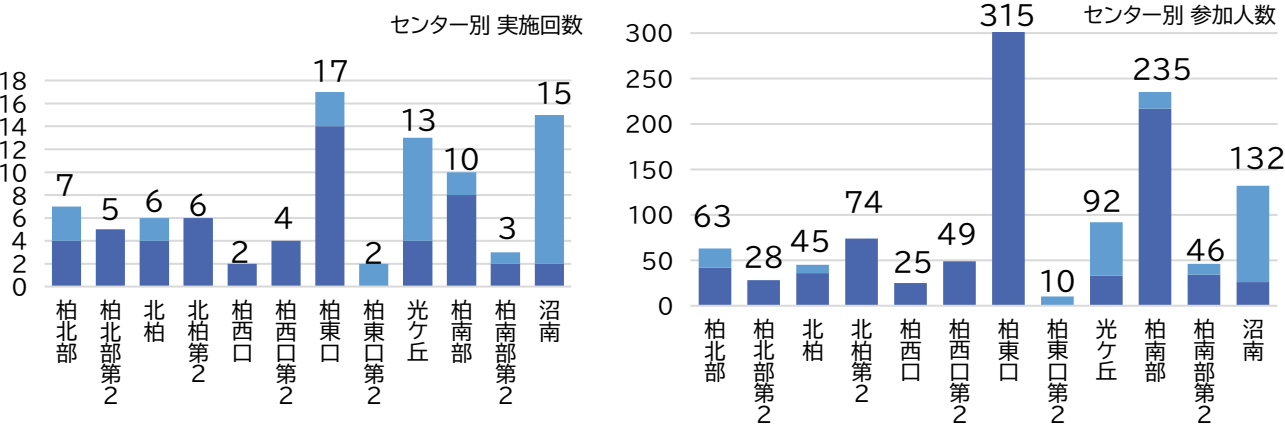
ア 認知症サポーター養成講座

開催回数
96回
参加人数
2,928人



イ 認知症カフェ(かしわオレンジホッとカフェ)と認知症介護者交流会

	実施回数	参加人数
認知症カフェ	55回	866人
認知症介護者交流会	35回	248人



(6) 認知症総合支援事業②

(認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)

ウ かしわオレンジフレンズ登録者数

(単位:人, 回)

センター	かしわオレンジ フレンズ登録者数 (R7年度末)	登録者のうち何らかの活動を した者 (R7年度末)
柏北部	58	48
柏北部第2	24	16
北柏	24	12
北柏第2	24	17
柏西口	36	20
柏西口第2	43	28
柏東口	29	22
柏東口第2	21	8
光ヶ丘	59	16
柏南部	24	22
柏南部第2	26	10
沼南	63	36
計	431	255

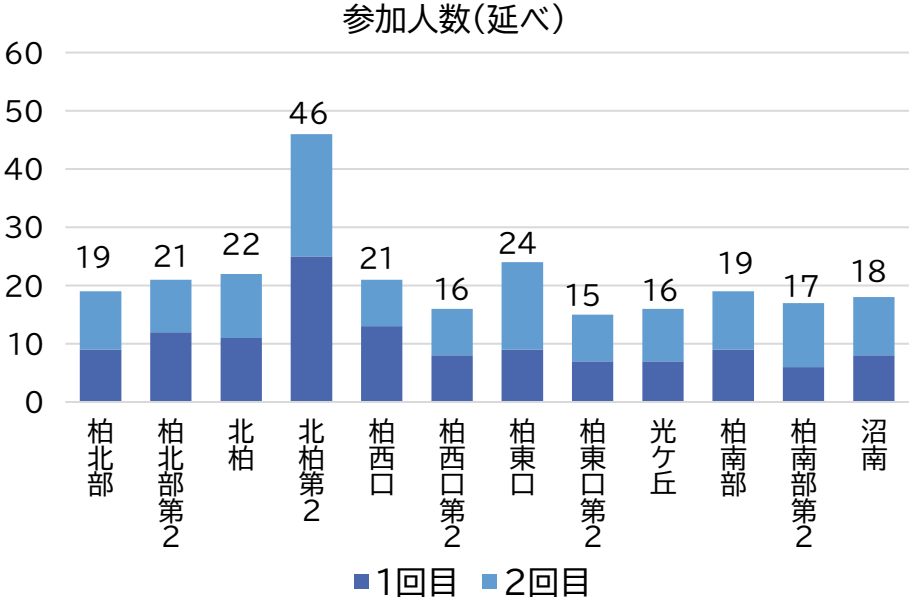
⇒かしわオレンジフレンズ
は認知症カフェ等の認知症
に関する事業でボランティア
として活動しているかた。

登録者の6割近くが実際に
活動を行った。

(7) 地域ケア会議推進事業

ア 地域ケア個別会議

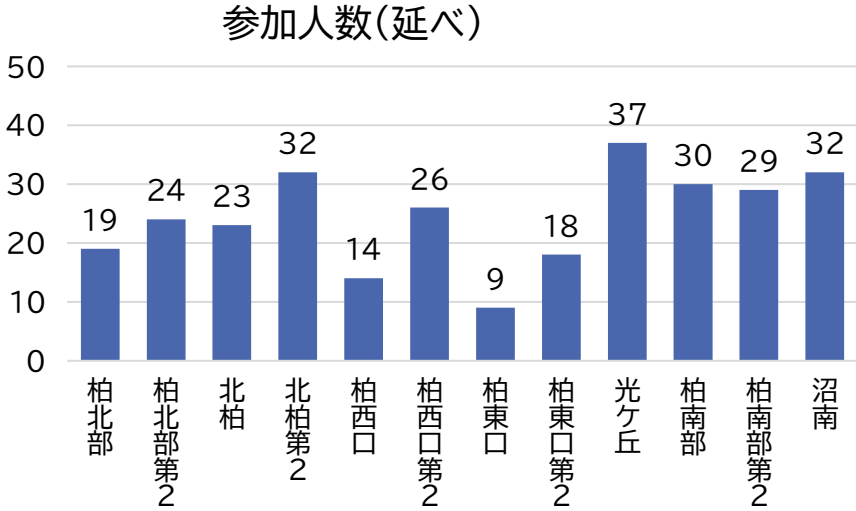
開催回数
24回
参加人数(延べ)
254人



テーマの約7割が
身寄りの無い方,
一人暮らしの方

イ 地域ケア推進圏域会議

開催回数
12回
参加人数(延べ)
293人



テーマの半数以上が
「地域の見守り」

(8) 令和6年度との比較

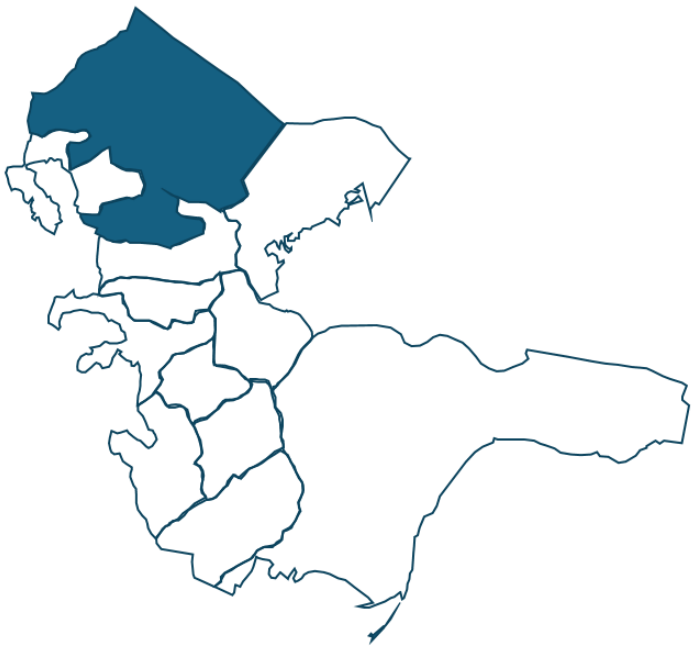
事業名	項目	R7年度	R6年度	前年度比
介護予防・生活支援サービス事業	ケアプラン作成数	49,275件	46,513件	105.9
	うち居宅介護支援事業所へ委託した件数	28,747件	26,775件	107.4
一般介護予防事業	フレイルチェック講座 参加者数	423人	446人	94.8
	サロン等の地域の団体への支援 参加者数	6,930人	7,056人	98.2
総合相談支援業務	相談件数(延べ)	21,884件	17,387件	125.9
権利擁護業務	虐待対応件数	28件	39件	71.8
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	地区別研修 参加者数	885人	790人	112.0
	事例検討会 参加者数	489人	413人	118.4
認知症総合支援事業 (認知症高齢者見守り事業・認知症サポーター養成事業を含む)	認知症サポーター養成講座 参加者数	2,928人	2,363人	123.9
	認知症カフェ/認知症介護者交流会 参加者数	1,114人	981人	113.6
地域ケア会議推進事業	地域ケア個別会議 参加者数	254人	268人	94.8
	地域ケア推進圏域会議 参加者数	293人	354人	82.8

(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

柏北部地域包括支援センター

課題	新興マンション住人の孤立
対応	交流の場「おまめン家」の設置 新しい住民と地域住民が自然につながる機会をつくった。 ボランティアが運営に関わる仕組みを構築
効果	地域の参加者も ボランティアも 元気になれる居場所づくりを実現

内容	柏北部
65歳以上人口	9,224人
高齢化率	18.6%
要介護認定率	16.3%

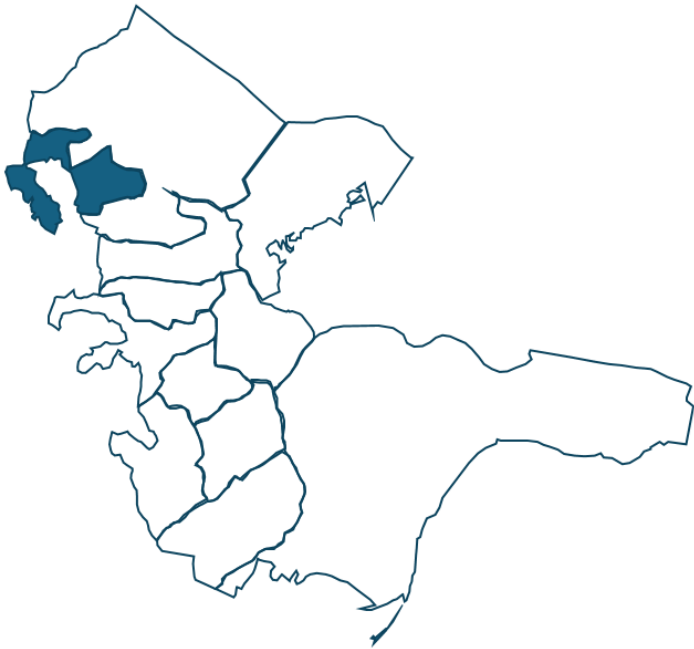


(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

柏北部第2地域包括支援センター

課題	認知症はまだ「他人事」
対応	認知症をテーマとした 映画上映会を開催 柏の葉ふるさと協議会と地域包括支援センターが連携し、 映画を通じて、認知症への理解を深める機会を提供
効果	認知症への理解と 地域の支え合い意識が向上

内容	柏北部第2
65歳以上人口	7,304人
高齢化率	25.5%
要介護認定率	17.7%

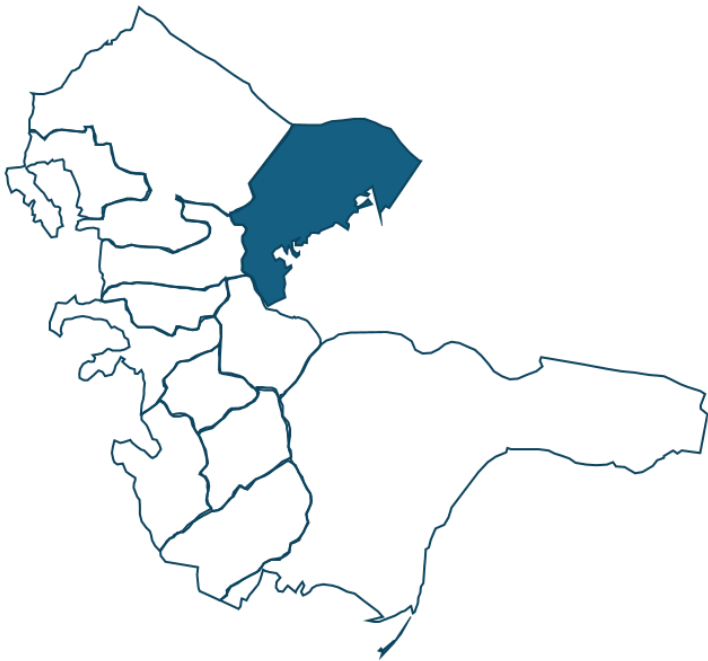


(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

北柏地域包括支援センター

課題	高齢者ニーズと地域資源 のマッチングが不十分
対応	「興味・関心チェックシート」を導入 ケアプラン作成の際に本人の興味・関心を引き出し、 プランに反映
効果	“支えられる人”から“活躍する人”へ できることが地域の力に 特技を地域活動につなげる仕組みづくり 本人の強みが新たな地域活動を創出

内容	北柏
65歳以上人口	7,510人
高齢化率	31.0%
要介護認定率	19.2%

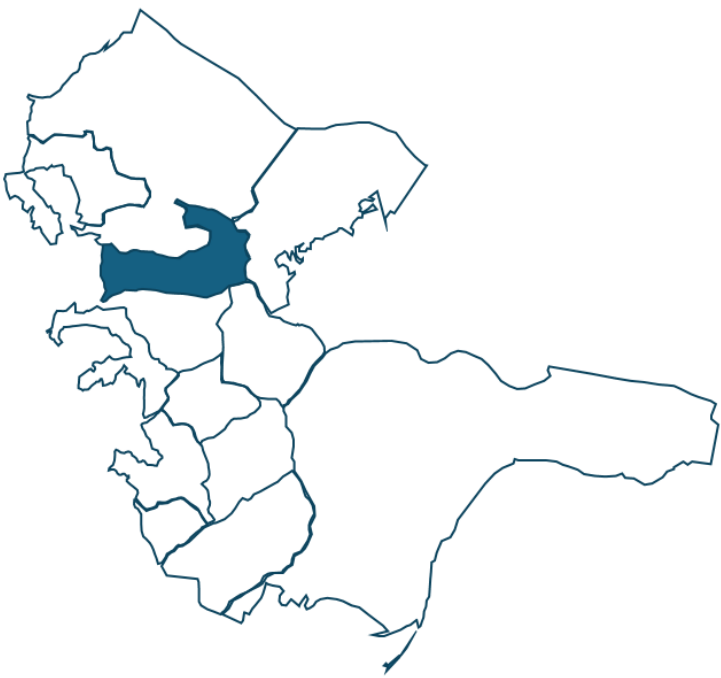


(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

北柏第2地域包括支援センター

課題	認知症支援での ベクトルの不一致
対応	ご本人の 地域ケア個別会議への参加 ご本人の思いを共有しながら、地域住民、専門職など多様な関係 者で「地域でどのように支え、見守るか」について意見交換を実施
効果	本人を中心に地域がつながり “ゆるい見守り”で 支える地域づくりの第一歩に

内容	北柏第2
65歳以上人口	9,529人
高齢化率	29.9%
要介護認定率	17.3%

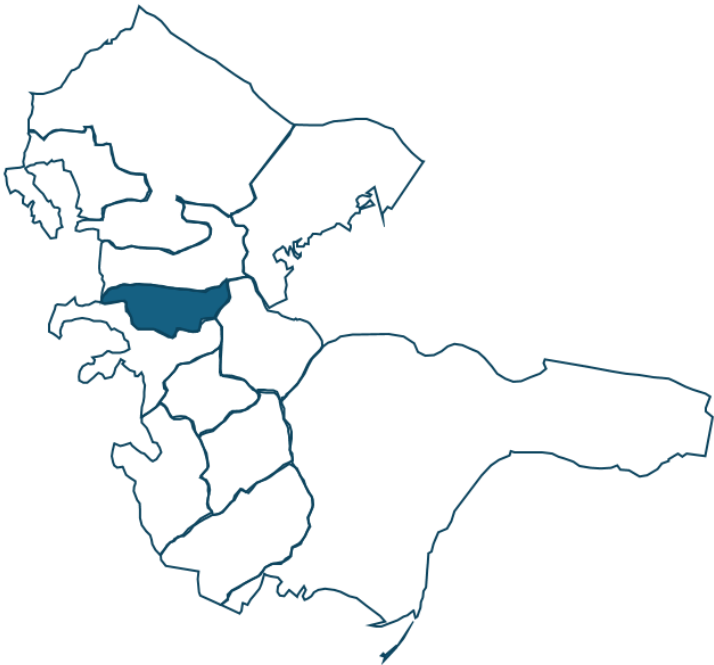


(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

柏西口地域包括支援センター

課題	認知症への理解不足による孤立
対応	「みんなのしゃべり場」の開設 豊四季台地域活動館に、地域の“つながり”を生む フリースペースを開放
効果	地域住民の“気軽な交流の場”と “ゆるやかな見守り”を実現

内容	柏西口
65歳以上人口	8,396人
高齢化率	25.4%
要介護認定率	20.5%



(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

柏西口第2地域包括支援センター

課題	フレイルの方が運動習慣を身につけ 継続する機会が不足
対応	「イオンウォーキング」を毎月開催 イオン内という安全で身近な環境を活かし、ウォーキング教室を開催。リーダーを配置し、運動だけでなく健康に関する講話も実施
効果	買い物の場を健康づくりの場へ 自ら続けられるフレイル予防の 仕組みづくり

内容	柏西口第2
65歳以上人口	7,803人
高齢化率	21.1%
要介護認定率	18.1%

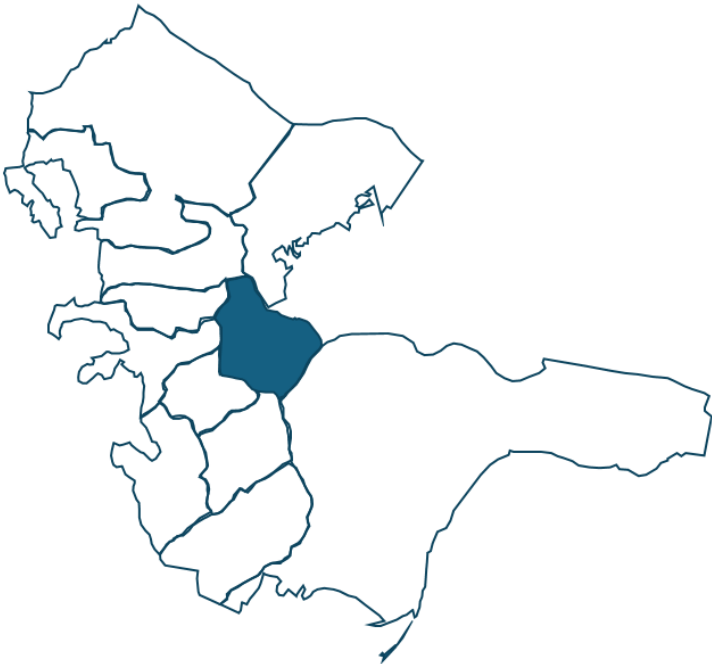


(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

柏東口地域包括支援センター

課題	認知症になっても“役割”と“生きがい” を持てる地域づくり
対応	誰もが主役になれる 「カフェ22」を毎月開催 認知症カフェにて誰もが主役になれるよう、リコーダーが得意な参加者の披露の場を設けたり、認知症になっても役割をもてる機会を作った。
効果	参加者が主役となり 新たな仲間を呼び込む 地域に広がる認知症カフェへ

内容	柏東口
65歳以上人口	10,231人
高齢化率	23.7%
要介護認定率	17.9%

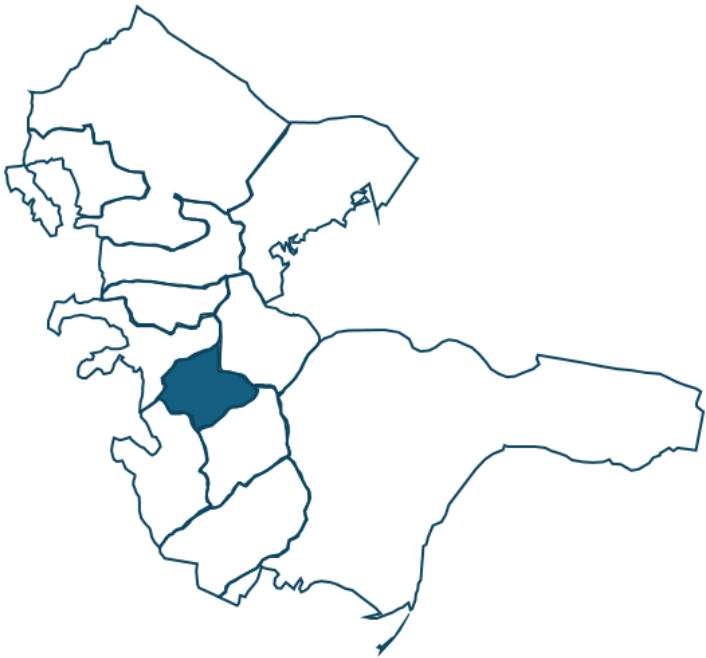


(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

柏東口第2地域包括支援センター

課題	地域住民, 関係機関とのネットワークの強化
対応	圏域内32か所の医療機関, 薬局, 商業施設等を訪問 他, サロン等を継続的に訪問し住民ニーズを把握 対話を通じた顔の見える関係づくりを推進
効果	アウトリーチの積み重ねが 地域の見守り体制の強化へ発展

内容	柏東口第2
65歳以上人口	7,761人
高齢化率	23.5%
要介護認定率	18.1%

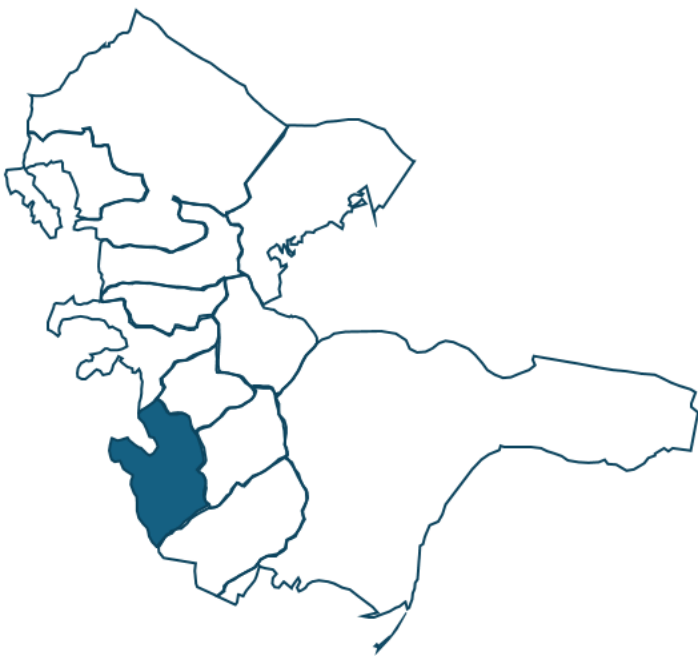


(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

光ヶ丘地域包括支援センター

課題	本人の“やりたい”と地域活動をつなぐ マッチング機能の不足
対応	個人の思いと地域の強みを活かす 地域づくり 一人一人の思いや地域の強みを丁寧に拾い上げながら、 ご本人と地域資源のマッチングに取り組み、 地域の様々な事業や活動につながるよう推し進めた。
効果	地域づくりの種まきを続けたことで 支え合いの土台づくりが進んだ

内容	光ヶ丘
65歳以上人口	11,406人
高齢化率	28.1%
要介護認定率	19.8%

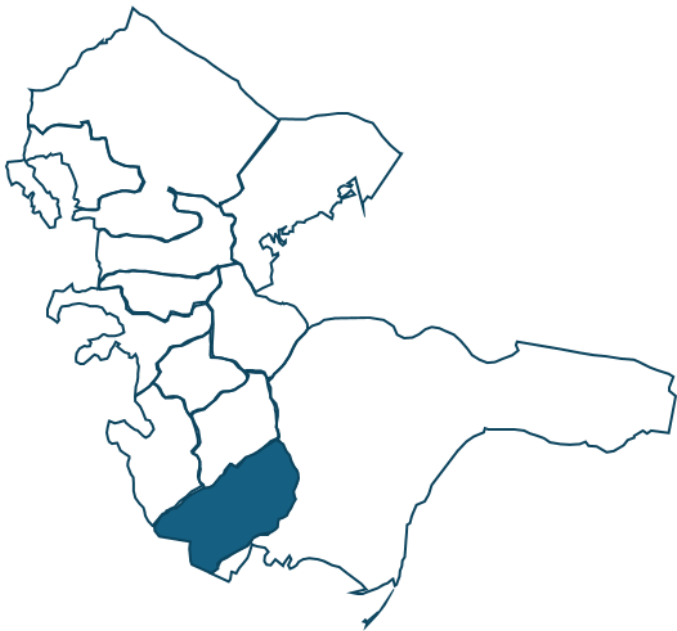


(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

柏南部地域包括支援センター

課題	移動の壁による地域活動の 参加機会への妨げ
対応	アクセスしやすい認知症カフェの 多拠点開催 認知症カフェ(ローズマリーカフェ)を一か所に固定せず, 4カ所で開催 身近な場所で参加でき, 認知症の方や家族, 地域住民が 気軽に立ち寄れる環境づくりを進めた。
効果	“来てもらう”から“出向く” 認知症カフェへの展開 地域の輪の広がり

内容	柏南部
65歳以上人口	12,458人
高齢化率	30.3%
要介護認定率	18.2%

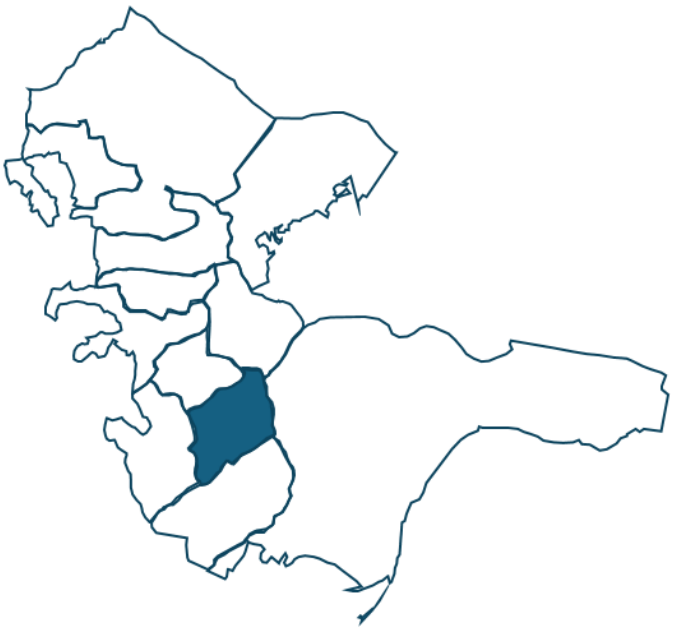


(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

柏南部第2地域包括支援センター

課題	男性高齢者の社会的孤立と 配偶者喪失による生活不安
対応	地域住民を講師とした シニア料理教室を開催 料理が得意な地域住民を講師とし、 基本的な調理技術から学べる内容(豚汁)として 地域の力を活かした一人一人に寄り添う住民主体の料理教室を開催
効果	『配偶者に自慢したい』という 笑顔が見られるなど 生活力向上と生きがいづくりの きっかけに

内容	柏南部第2
65歳以上人口	7,484人
高齢化率	30.2%
要介護認定率	19.4%

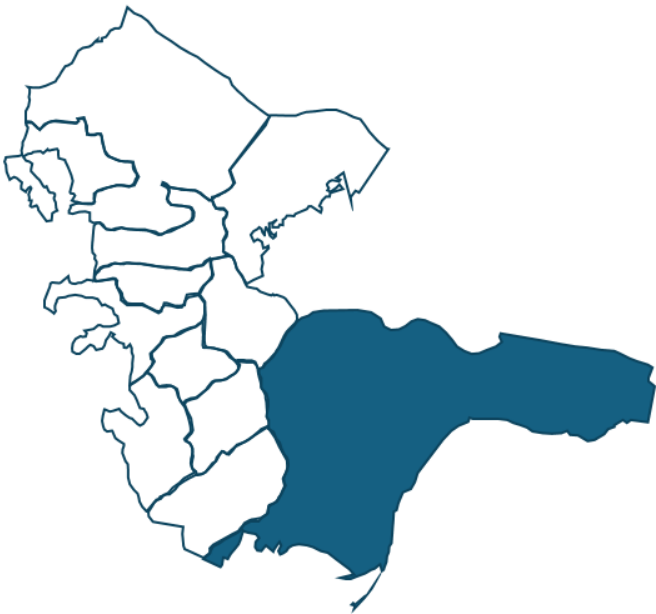


(9) 令和7年度 課題解決に向けた取り組み

沼南地域包括支援センター

課題	課題が複合化する世帯への支援に伴う シャドウワークの増大
対応	地域ケア推進圏域会議で 潜在的な資源を協議 意見交換を行い, お互いの役割や業務範囲への理解を深めた。 過剰な支援が世帯の自立を妨げることも共有した。
効果	支援者が抱え込む支援から 地域で支える支援へ ちょい足し活動の土台づくりに

内容	沼南
65歳以上人口	14,975人
高齢化率	28.3%
要介護認定率	16.1%



(10) まとめ 令和7年度の傾向と令和8年度に向けて

令和7年度の傾向

- ・地域ケア個別会議の約7割が身寄りのない方や一人暮らしの方に関する案件
⇒頼れる親族や知人がいないことから, 生活支援や意思決定支援, 入退院支援, 死後事務など複合的な課題を抱えるケースが増加。1つの機関だけでの対応が困難
- ・高齢者数の増加によるケアプラン数の増加
⇒担い手不足となる2040年に向け, 業務負担が増加傾向

令和8年度に向けて

- ・身寄りのない高齢者等が安心して暮らし続けられるよう, 本人の意思を尊重しながら将来への備えを支援
- ・医療, 介護, 福祉, 地域関係者との顔の見える関係により, 早期から相談や支援につながる体制を強化
- ・地域全体を資源と考え, 本人の「〇〇したい」を支援し, フレイル予防を推進